

《研究課題名》「睡眠の質」が健康アウトカムに及ぼす影響の評価研究

《研究対象者》2014年1月24日～2019年3月31日の間に、滋賀医科大学および睡眠総合ケアクリニック代々木にて、R2013-175「睡眠に影響をもたらす遺伝子の解明に関する研究」の研究にご協力いただいた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

「睡眠の質」が健康アウトカムに及ぼす影響の評価研究

《研究期間》

滋賀医科大学学長許可日 2020年 月 日～2022年3月31日

《研究責任者》

滋賀医科大学 睡眠行動医学講座 特任教授 角谷寛

（２）研究の意義、目的について

《意義》

従来から用いられている睡眠脳波による客観睡眠指標と、本研究での「睡眠の質」指標との関連を調べることにより、より客観的、科学的な睡眠の評価系を開発する基盤が構築され、睡眠 健康関連研究の発展に貢献することが期待出来ます。

また、本研究により「睡眠の質」が健康アウトカムに及ぼす影響を明らかにすることで、新たな健康増進のための介入法の開発や、国民の健康指標として「睡眠の質」が活用できる可能性があります。

《目的》

本研究の目的は「睡眠の質」を反映し、健康を維持するために目標となる指標・数値目標を示すことです。その為に、「睡眠の質」の数値目標に客観性を担保するため、既存の大規模疫学データを再解析し睡眠の客観指標と主観指標の関連性を評価いたします。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は、滋賀医科大学と国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センターの共同研究とし

て実施いたします。

《利用する試料・情報の項目》

情報：疾患の有無・質問票スコア（SF-36・PSQI・ESS・MEQ・SPAQ・SDS・SCID）

年齢・性別・血液生化学データ・活動量計解析結果・ゲノム解析の結果

試料：DNA・血液（全て匿名化されている）

《情報の提供先》

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

《情報の提供方法》

こちらで統計解析したデータ（試料も数値化してデータ化したもの）のみを提供する。

データは、記録媒体に入れて、研究代表者から共同研究機関の研究者へ郵送する。

《情報を利用する者の範囲》

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

研究責任者：精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部 部長 栗山健一

《試料・情報の管理について責任を有する者》

- ・ 滋賀医科大学睡眠行動医学講座 特任教授 角谷寛
- ・ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部 部長 栗山健一

（４）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 睡眠行動医学講座 角谷寛

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-3632

メールアドレス：hqsuimin@belle.shiga-med.ac.jp